

## 住宅着工は前年比マイナス圏で推移 観光、旅客数は依然好調

6月の住宅着工戸数は、前年同月比▲32.1%の1,079戸となった。駆け込み需要で急増した3月からの反動減が依然として続いているとみられる。

5月の延べ宿泊者数は日本人、外国人ともに増加に寄与したことで717,690人（同+6.3%）となった。

6月の熊本空港の旅客数は同+9.3%の275,953人で、45カ月連続の増加となった。

各指数の矢印については  
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

### 鉱工業生産指数



### 2カ月ぶりに前月比低下(5月)

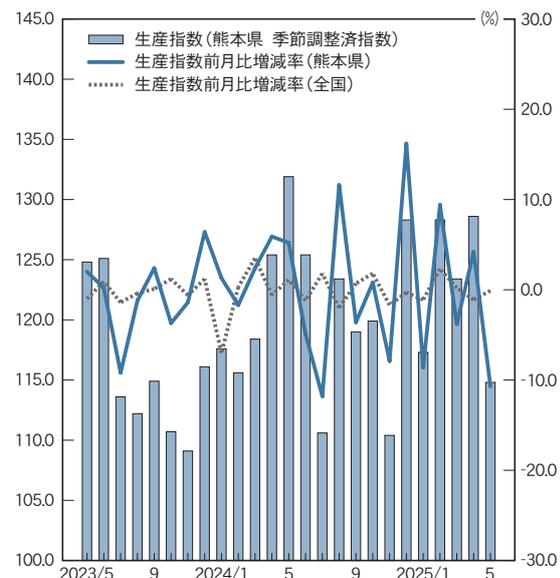
5月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、速報値で前月比▲10.7%の114.8となり、2カ月ぶりに前月比で低下した。

生産指数（季節調整済）を業種別にみると、電子部品・デバイス工業（前月比▲83.8%）、食料品・たばこ工業（同▲3.7%）、ゴム製品工業（同▲16.0%）など8業種が低下した。一方、汎用・生産用機械工業（同+28.3%）、電気機械工業（同+65.6%）など9業種が上昇した。電子部品・デバイス工業は、事業者から国への申告数値の見直しに伴い、指数低下幅が大きくなった。

業種別寄与度を見ると、電子部品・デバイス工業が▲24.06ポイントとなり、全体の生産指数を押し下げた。

なお、熊本県は、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路の生産指数について、申告数値の修正に伴い以前の数値との比較ができなくなったため、今回から公表を取りやめるとしている。

鉱工業生産指数前月比（2020年=100 季節調整済）



※最新月は速報値  
資料：熊本県統計調査課、経済産業省

## 住宅着工



着工戸数は3カ月連続で前年比マイナス(6月)

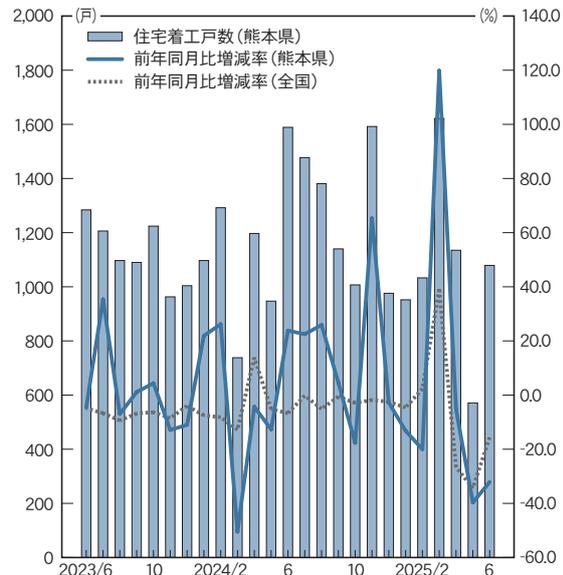
6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比▲32.1%の1,079戸となった。

省エネ基準の適合義務化や、4号特例の縮小による駆け込み需要で急増した3月からの反動減が続いていると見られる。

利用関係別にみると、持家が321戸（前年同月比▲4.7%）、貸家は522戸（同▲38.7%）、分譲は155戸（同▲61.2%）であった。貸家と分譲の減少幅が大きかった。

全国の6月の新設住宅着工戸数も、55,956戸（同▲15.6%）と3カ月連続の減少となった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

## 公共工事



請負金額は前年比マイナス(7月)

7月の公共工事請負金額は297億61百万円で前年同月比▲9.2%となった。

以降は会員専用ページにて公開しております。

請負金額を発注者別にみると、国は77億81百万円（前年同月比▲24.4%）、熊本県は29億55百万円（同+94.5%）、熊本市は16億15百万円（同▲17.7%）となっている。

地区別では県内11地区のうち、阿蘇球磨地区などの6地区が前年比プラスとなった。熊本地区、八代地区などの5地区は前年比マイナスとなった。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方はここから](#)